

愛の俳句

今年度の入選50作品

今年度、国内外から過去最多となる3,608句が寄せられました。

その中から、俳人の黛まどかさんによって50句が選定されたのでご紹介します。



ころころと実梅を洗ふ母と娘と
大沼 卓郎 (神奈川県相模原市)

桑の実や母に聞かせる子守歌
石川 初子 (宮城県仙台市)

嬰兒に桃の花より名をもらう
内田貴代美 (新潟県妙高市)

春彼岸ベランダいっばい子の布団
穂山 常男 (大阪府八尾市)

手を借りて降り坂道リラの花
新妻てるよ (宮城県古川市)

初孫の産声高し竜の玉
宝玉石子 (福島県富岡町)

亡き父の匂い残れる籐寝椅子
渡邊 文雄 (福島県いわき市)

カーネーション母にこやかに撮られおり
山下 桂二 (大阪府高槻市)

夏霧の深きに牛が牛を呼ぶ
吉田 靖子 (福島県平田村)

吾が陰に妻入れてゆく油照
加川 喜泉 (岐阜県垂井町)

子に世話をやかせぬつもり藁の花
矢持 義峰 (宮城県岩沼市)

ひしめきて子らの眠りし夏座敷
中野 千秋 (群馬県伊勢崎市)

靴下に夫の脱ぎ癖のどけしや
志田 久仁 (奈良県広陵町)

道草で春を見つけたランドセル
原田 敏子 (福島県伊達市)

トラクターに新妻乗せて花野ゆく
細梅 外史 (ブラジル国)

母のメモイもたよりに梅を干す
濱田 武哲 (群馬県太田市)

物差に妻の旧姓春灯
佐藤 川府 (福島県伊達市)

百才の母に叱られ暖かし
斉藤 ハル (福島県いわき市)

初孫の一步あゆめる小春かな
永吉 正子 (大阪府枚方市)

漬梅の母の土産を持たさるる
新明 昭郎 (福島県いわき市)

産声の高らかなりし鯉起し
長 歸白 (福岡県福岡市)

登山帽夫少年の顔となり
山口みつ江 (福島県福島市)

沈丁や日向に母の小座布団
田中 美月 (奈良県橿原市)

母の忌に授かる一句帰花
上田 和之 (奈良県奈良市)

母と子の顔間近にす蛭龍
江井 芳郎 (福島県南相馬市)

母さんはいつもしまひ湯つづれされ
郡 未来 (福島県南相馬市)

身ごもりし娘にかたむける白日傘
小林久美子 (福島県相馬市)

亡き母の桐下駄を置く花の下
新井田照代 (福島県西会津町)

孫が勝つジャンケンボンや春隣
三宅 新作 (神奈川県大和市)

農を継ぐ子に大なる鯉幟
宮田 良子 (福岡県筑紫野市)

サンタさんだれかににてるでもないしょ
諸橋 沙夏 (福島県いわき市)

郭公のよく鳴く日かな畑仕事
佐藤フミ子 (福島県飯館村)

雲雀野の真ん中に置く乳母車
山田 雅己 (栃木県足利市)

車椅子に妻と春風乗せて押す
安藤 秀雄 (青森県八戸市)

リハビリの吾れに従きくる夏帽子
須賀吐句志 (ブラジル国)

夫婦舟出て行く海や明易し
緑川 峯子 (福島県南相馬市)

ままのふくきてかかしさんおこりんぼう
高野 未玖 (福島県相馬市)

栗飯や叱られし子のすぐ笑ふ
新田 勝江 (福島県南相馬市)

柚子入れて母に来てゐる入浴車
山崎カツ子 (福島県南相馬市)

万緑に抱かれており父の墓
小河 芳江 (奈良県大淀町)

生身魂忘れ上手になり給ふ
小出 昭夫 (福島県南相馬市)

寒紅を永久の別れの妻にひく
岡本 利一 (ブラジル国)

美しき手話の指先十三夜
荻原 静歩 (長野県茅野市)

梅雨寒や母の匂ひの古行李
小出 敏江 (福島県南相馬市)

初孫をたかいたかいと菊日和
一ノ瀬人二 (長崎県長崎市)

雁渡し帰るとだけの子の便り
杉山ますゑ (静岡県藤枝市)

あいしてるなんて言へないしゃぼん玉
板垣 道代 (岐阜県本巣市)

神の子のふぐり頼もし天瓜粉
小林 蒨子 (群馬県藤岡市)

母ほどの母になりたし柚子の花
手塚 久代 (福島県いわき市)

嫁ぎゆくもとも白き雪踏みて
楠美寿美子 (北海道札幌市)